

1～10 頁

西洋人がエディップス・コンプレックスからハムレットを論じたように古澤平作の唱えた阿閻世コンプレックスからハムレットの母親との関係性を分析した。処罰型と許し型の罪悪意識について触れ、ハムレットにとって最も大切であったものが母親との和解であったことを論じた。西欧と日本の罪悪意識の比較から論じた。この阿閻世コンプレックスは『タイム』に取り上げられたことで、日本でも再評価が行われた経緯がある。(A 5)